

現場で使える 実務ガイド

個別支援計画 記入例集

ROOTS

児発・放デイの運営ソフト | 株式会社INU
rootshub.jp



5領域は「目標の数」ではなく、支援を点検する視点です

アセスメントでは5領域すべての視点を持ち、計画全体の本人支援で各領域との関連が分かるようにします。

ASSESSMENT

5領域から全体像を捉える

生活場面、得意なこと、困りやすい条件、本人・家族の希望を整理します。

PLAN

必要な目標だけを置く

1つの目標が複数領域に関連して構いません。領域ごとの行数は固定されていません。

MONITORING

行動と環境の変化を見る

できた・できないだけでなく、支援方法や環境調整が合っていたかを振り返ります。

「5領域それぞれに必ず1目標を置く」「5行に分ける」という一律のルールではありません。本人の課題と希望から必要な目標を設定し、本人支援全体で5領域との関連を確認します。

アセスメントから、観察できる目標へつなげます

本人・家族の希望と客観的な事実を起点にすると、目標と支援内容の役割が混ざりにくなります。

1 本人・家族の意向と生活上の事実を整理する

本人の表出、家庭・園・学校・事業所での様子、得意なこと、環境条件を分けて記録します。

2 優先する課題と総合的な支援方針を決める

本人の最善の利益を中心に、今期に取り組む理由と順序を担当者会議で確認します。

3 到達目標を、こどもを主語にして書く

場面・行動・支援の程度・達成時期を置き、モニタリングで観察できる表現にします。

4 支援内容を、事業所の働きかけとして書く

提示方法、環境調整、待ち方、記録方法、家庭や関係機関との連携を具体化します。

5 関連する領域を付け、少なくとも6か月に1回見直す

本人支援全体で5領域との関連を点検し、必要があれば6か月を待たず変更します。

健康・生活 | 生活場면을、観察できる行動にします

健康状態、生活リズム、食事・排泄・着脱・衛生などを、本人の生活場面と必要な支援から捉えます。以下は架空の例です。

避けたい書き方

目標「生活習慣を身につける」／支援「できるだけ声をかける」

- どの生活場면을指すのか分からない
- 達成の状態と支援の程度を確認できない
- 声かけ以外の環境調整が読み取れない

記入例

■ 到達目標

6か月以内に、来所後の写真手順を見て、上着と荷物を定位置へ置く一連の行動を、声かけ1回以内で行える場면을週3回以上にする。

■ 支援内容

置き場所を固定し、2工程の写真手順を同じ位置に提示する。必要な支援を「指差し・声かけ・一緒に行く」に分けて記録する。

■ 関連する領域

健康・生活。手順理解との関連から、認知・行動も併記できます。

運動・感覚 | 姿勢・動き・感覚への配慮を具体化します

姿勢や基本動作、移動、感覚の活用、感覚特性に応じた環境調整を、活動への参加と結び付けます。以下は架空の例です。

避けたい書き方

目標「感覚過敏を改善する」／支援「苦手な刺激にも慣れさせる」

- 本人の困り方や参加したい場面が見えない
- 刺激への反応を本人の努力だけに帰している
- 環境調整や代替手段の選択肢がない

記入例

■ 到達目標

6か月以内に、音が気になる活動前に「静かな席・イヤーマフ・短い休憩」から自分に合う方法を選び、10分間参加できる場面を増やす。

■ 支援内容

活動前に選択肢を提示し、刺激の強さ、本人の表出、選んだ調整方法、参加時間を記録する。無理な継続は求めず休止の表出にも応答する。

■ 関連する領域

運動・感覚。選択と表出との関連から、認知・行動、言語・コミュニケーションも確認します。

認知・行動 | 行動の前後と、分かりやすい環境を書きます

認知特性、見通し、概念形成、行動へのつながりを捉え、行動だけを否定的にラベル付けしません。以下は架空の例です。

避けたい書き方

目標「問題行動をなくす」／支援「指示に従えるよう注意する」

- 行動が起きる場面や理由を把握できない
- 本人が理解しやすい提示方法が書かれていない
- 変化を何で評価するか決められない

記入例

■ 到達目標

6か月以内に、終了カードが示されたとき、次の活動を2つの写真から選び、3分以内に移れる場面を5回中4回にする。

■ 支援内容

終了5分前と1分前に同じ合図を示し、次の活動を写真で2択提示する。切替時間と有効だった提示方法を記録する。

■ 関連する領域

認知・行動。選択を伝える手段との関連から、言語・コミュニケーションも併記できます。

言語・コミュニケーション | 伝わる手段を一つに限定しません

話し言葉だけでなく、身振り、サイン、写真、文字、AAC・ICTなど、本人に合う受信・表出手段を選びます。以下は架空の例です。

避けたい書き方

目標「言葉を増やす」／支援「発語を促す」

- 誰に、何を、どの場面で伝えるかが曖昧
- 話し言葉以外の有効な手段を評価できない
- 支援者の待ち方や応答方法が分からない

記入例

■ 到達目標

6か月以内に、手伝ってほしい場面で、ことば・身振り・「手伝って」カードのいずれかを使い、5回中4回支援者へ伝える。

■ 支援内容

使える手段を手の届く位置に置き、支援者が見本を示した後に待つ。表出方法を限定せず、伝えた内容へすぐ応答して記録する。

■ 関連する領域

言語・コミュニケーション。援助要請を使う生活場面との関連から、健康・生活も確認します。

人間関係・社会性 | 安心と参加の条件を目標に含めます

愛着・安心、遊びを通した社会性、自己理解、感情・行動の調整、仲間や集団への参加を捉えます。以下は架空の例です。

避けたい書き方

目標「友だちと仲良く遊ぶ」／支援「集団に入れるよう促す」

- 本人が望む関わり方や安心できる人数が不明
- 「仲良く」の達成状態を観察できない
- 参加を強いる支援になりやすい

記入例

- 到達目標
6か月以内に、本人が選んだ少人数遊びで、順番カードを使って1回以上交代しながら5分参加できる場面を週2回つくる。
- 支援内容
2～3人の活動を用意し、開始前に役割と終わりを視覚提示する。支援者が交代を仲介し、離席や休憩の選択にも応答する。
- 関連する領域
人間関係・社会性。順番の理解と意思表示から、認知・行動、言語・コミュニケーションも確認します。

支援区分の位置づけと、交付前の確認を分けます

省令、公式ガイドライン、参考様式では根拠の強さが異なります。固定様式と決めつけず、指定権者の様式も確認します。

区分	公式資料上の位置づけ	書く内容の例
本人支援	具体的支援と5領域との関連を計画全体で明らかにする	本人の目標、事業所の支援、担当、達成時期、留意事項
家族支援	公式の記載ポイントで計画に位置づける項目	家族の困りごと、相談・情報提供、家庭で無理なく続ける方法
移行支援	公式の記載ポイントで計画に位置づける項目	園・学校・次の生活段階との情報共有、環境調整、引継ぎ
地域支援・地域連携	必要に応じて記載し、積極的な取組が推奨される	相談支援、医療、教育、地域資源との役割分担・連絡方法

交付前に、担当者会議での検討、本人・保護者への説明と文書同意、保護者と障害児相談支援事業者への交付、モニタリング予定日を確認します。参考様式は行を増減できます。

本資料の例文は架空です。実際の計画は本人ごとのアセスメント、本人・家族の意向、担当者会議の検討に基づいて作成します。

出典・確認事項

法令の現行内容と、こども家庭庁が公開するガイドライン・記載ポイント・参考様式を照合しました。

e-Gov法令検索 | 児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準

<https://laws.e-gov.go.jp/law/424M60000100015>

確認日: 2026-08-14

こども家庭庁 | 放課後等デイサービスガイドライン(令和6年7月)

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/7692b729-5944-45ee-bbd8-f0283126b7db/def1acaf/20241101_policies_shougaijishien_shisaku_guideline_tebiki_06.pdf

確認日: 2026-08-14

こども家庭庁 | 個別支援計画の参考様式(別紙2)

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/253aba4f-3ce0-4aa1-a777-3d42440f1ca2/66a56ae7/20240520_policies_shougaijishien_shisaku_hoshukaitei_101.pdf

確認日: 2026-08-14

こども家庭庁 | 児童発達支援ガイドライン(令和6年7月)

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/7692b729-5944-45ee-bbd8-f0283126b7db/863f5ecf/20241101_policies_shougaijishien_shisaku_guideline_tebiki_02.pdf

確認日: 2026-08-14

こども家庭庁 | 個別支援計画の記載のポイント(別紙1)

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/253aba4f-3ce0-4aa1-a777-3d42440f1ca2/fc728b4a/20240520_policies_shougaijishien_shisaku_hoshukaitei_100.pdf

確認日: 2026-08-14

こども家庭庁 | 個別支援計画の参考記載例(別紙3)

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/253aba4f-3ce0-4aa1-a777-3d42440f1ca2/9fd072b1/20240520_policies_shougaijishien_shisaku_hoshukaitei_102.pdf

確認日: 2026-08-14

計画様式・運用・受理の最終確認は、指定権者(都道府県・指定都市・中核市)へお願いします。
株式会社INU(ROOTS運営)は行政機関ではありません。